

信じる

信用できる人が、まわりにいることはとても大切な

ことです。自分のまわりで、どんな人なら信用できま

すか。思いついた人をつぎの空白に書いて下さい。

信じること

信仰の内容については、誰でも答えることができま

す。しかし、信仰の内容をすらすらと答えたからとい

って、それがすぐ信仰につながるわけでもありません。

信仰とは、信仰内容をうのみにして、それをくりかえ

すことなのででしょうか。

昔の神学校の教育のあり方は、すべて質問と答え

が決まっています、ようするに、それをまる暗記して、

正確に答えれば、神学の成績は優秀とされたのです。

神学の授業だけでなく、神学校の生活も同じで、す

べて決められたとおりに動く神学生が、将来すぐれ

た司祭になると判断されていたのです。

ところが、今の神学校の教育のあり方は、ある決まった司祭像を作りあげるのではなく、いろんな司祭像の可能性をさぐることをめざしています。神学の授業も、ある決まった答えを出すのではなく、いかにしたら答えが出るかを一緒に探していくのです。

昔、教会で教えてきた公教要理は、いつでも、どこでも通用する答えがこれなんだと教えてきました。しかし、それはどこでも通用する答えではありません。各自がおかれた場で、それぞれが答えを見いだしていかななくてはなりません。常に神を求め続けるこ

とこそ信仰です。だからこそ、信仰について語るのには、むずかしいのです。

どんな困難にあっても、どんなやみの中にいても、いつかきつと光が見いだされるといふ希望を持つことが、できるのは、信仰です。はじめから先が見えていれば、それは信仰とは言えません。

